

テーマ1 親自身の仲間づくりを ～自己紹介をしよう～

【ねらい】

自己紹介を通してお互いの家族・親子関係や悩み等を知り、それぞれの人が何らかの悩みを抱えながら子育て、家庭教育を行っていることに気づく。また、悩んだり困ったりしているときに、「助けて」と言える人間関係づくりを進める。

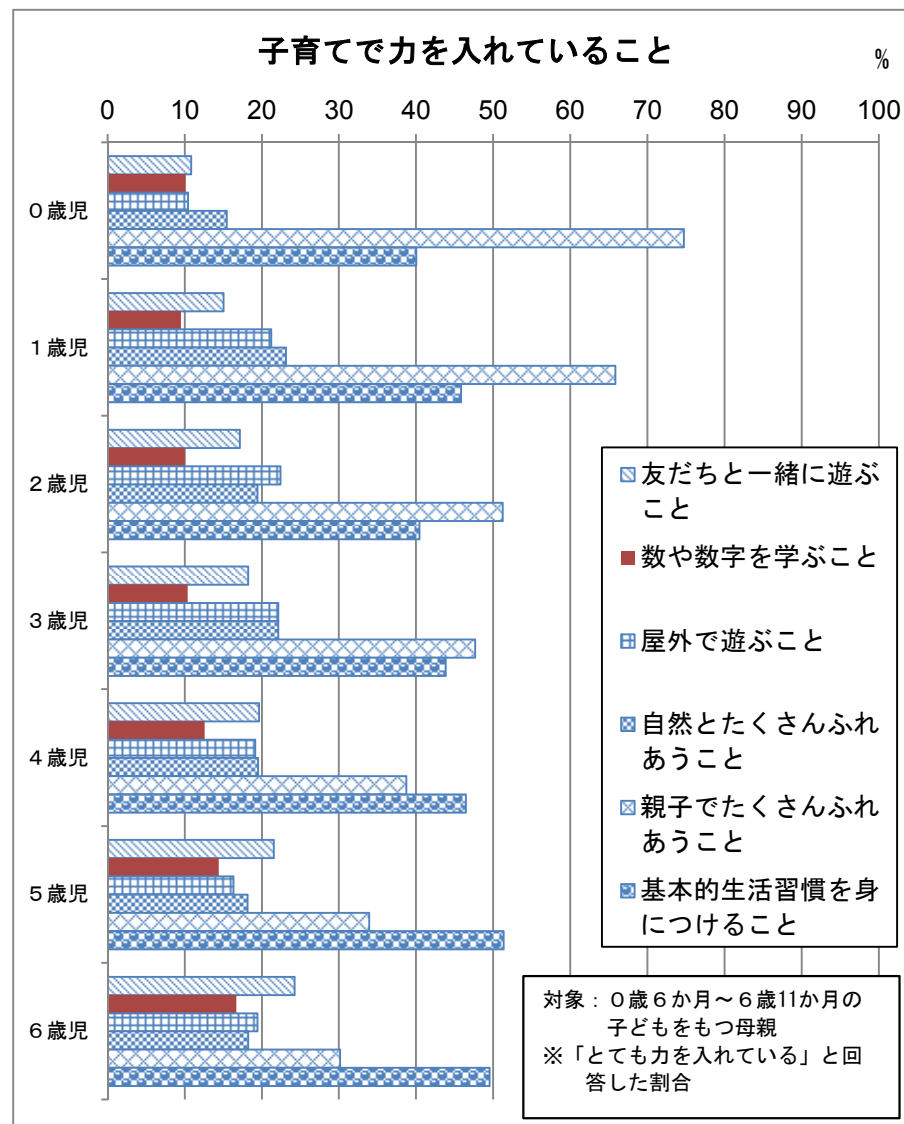
【活動の流れ】

- 1 事例を読み、親同士の関係が子どもにも影響することがあることを知らせ、親同士が仲良くなるために、まず自己紹介をしようと伝える。
- 2 ファシリテーターまたは進行役が自己紹介する。
- 3 話しやすくするためにワークシートに伝えたいことを書く。(悩みや困っていること、家族や子どものことなど)
- 4 参加者が自己紹介する。自己紹介を聞きながら、共感したことや発見したことをワークシートに書く。
- 5 自己紹介で出た悩みや困っていることをファシリテーターが簡単にまとめた後、参加者が共感したことや発見したことを話し合う。
- 6 話し合いのまとめをする。

【支援のポイント】

- 参加者が自己紹介をしやすいようにファシリテーターが、まず初めに自己紹介を行い、場の雰囲気を和らげる。そのときに、子育てや家庭教育に関してのエピソード、トラブル等を交える。
- 最初から深く自分を語る人もいれば、自分を語りたがらない人もいる。無理矢理語らせることのないように配慮する。
- 親の関係が子どもの遊び友だち等に影響を与える場合があることを伝え、親の関係づくりの重要性を伝える。
- 参加者が悩みや困っていることを素直に話された場合は、共感の態度を示し、次からも話しやすくする。
- 困ったときは遠慮せずに相談することが、お互いをつなぎ、仲間づくりにつながっていることを付け加える。

【参考資料】



【第5回幼児の生活アンケート(ベネッセ教育総合研究所 2015)】